

教育民生常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和4年6月9日（木） 午前9時30分 ～ 午前12時			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 5名のうち出席者 5名			
出 席 委 員	委 員 長	古 谷 幹 夫	委 員	田 邊 哲 夫
	副委員長	武 田 秀 義	委 員	堀 本 伸 一
	委 員	水 間 淳 一		
欠 席 委 員				
傍 聴 者				
付 議 事 件	1. 文化的施設について 2. その他			
審 査 ・ 調 査	1. 文化的施設について			
	○議場にて文化的施設のCG映像を全員協議会で見る。			
	○その後委員会室でこの映像に対する感想等を中心に協議。			
	感想として出された主な意見			
	・もう少し具体的なイメージが欲しかった			
	・概略は分かった。できるだけ多くの四万十檜の使用を望むがコスト増が懸念。			
	・四万十産財の使用は基本だが、現時点では設計に任すしかない。			
	・エントランス部分は必要か ・空間が広すぎる			
	続いて上記の感想も踏まえ協議。主だった意見として			
	・地元では反対の声が多い。町民が喜んで足を運んでくれるのか疑問に思う。			
	・移動図書館、サテライトの充実を図れば拠点施設は広くなくて良い。			
	・資材の高騰理由で大幅な増額を認めることは躊躇する。			
	・これまで公共施設の建設に関して、地区から反対の意見書、陳情書が出されたことは初めてのことだ。			
	・9月には資材高騰も踏まえた総事業費が概ね出てくる見通しなのでそれを受けての対応が重要だ。			
	・財源として合併特例債と過疎債の比較が必要だ。			
	以上の主だった意見が出された。特に意見の集約は行わず閉会とした。			
報 告 日	令和4年9月6日（火）	委員長署名	古 谷 幹 夫 	